

2018年 社長年頭挨拶(要旨)

愛知製鋼株式会社(本社:愛知県東海市、社長:藤岡高広)は、2018年1月9日(火)、当社体育館(愛知製鋼企業年金基金団体体育館アスカム)において「社長年頭挨拶」を行いました。

<藤岡社長年頭挨拶 要旨>

皆さん、新年明けましておめでとうございます。年頭にあたり、新たな決意と共にご挨拶させていただきます。

1. 取り巻く環境と「Aichi Way」策定

当社を取り巻く環境を見てみると、電動車の普及が急激に加速し、「自動車産業100年での大転換期」と呼ばれるほど、その構造は大きく変化しようとしています。特殊鋼使用量の減少が想定され、当社にとって厳しい環境になりつつある一方、スマート社会の進展により新たなビジネスチャンスも増え、時代を先読みする力がますます重要になっています。

このように目まぐるしく変わっていく不透明で不確実な時代を、愛知製鋼グループが生き抜き、年輪的に成長を続けるために、今年度、2つの大きな取り組みを実施しました。

1つ目が、「2020年度 中期経営計画」を策定したことです。2020年までに達成すべき数値目標を明確にし、「収益力を磨く」「基盤強化」「スマートへの布石」という3本柱をベースとして確実に実行していきます。そして2つ目が、これから説明する、愛知製鋼グループ全員が持つべき普遍的な価値観・行動規範「Aichi Way」の策定です。

2. 「Aichi Way」とは？

(1) 狙い

「Aichi Way」は、当社が長年にわたって培ってきた「継承すべき価値観」と、時代が変わる中で必要とされる「新たに獲得すべき価値観」を明確化したものであり、社員一人ひとりが仕事をするうえでのベースとなるものです。社員一人ひとりが『その心・考え・行動は「Aichi Way」に沿っているか』を常に自分自身に問いかけるための規範として、「企業行動指針」とともに経営理念を支えます。

- ① 仕事を進めるうえで心の拠り所・支えとなるもの
- ② 物事を考えるときに大切にすること
- ③ 行動を起こすときに大切にすること

(2) 概要

『伝承』『感謝』『創造』の3つのカテゴリで構成され、5つのキーワードで重要な価値観・行動規範を表します。

① 『^{Sustain}伝承』…創業の精神

【高い志】 日本初の国産大衆乗用車の生産に不可欠な「よきハガネ」を自らの手でゼロからつくるという、創業者 豊田喜一郎の『高い志』をしっかりと受け継ぎ、創業の精神を大切にしよう

【誠実】 愛知製鋼グループの社員としてはもちろん、まずは一人の人間として『誠実』な心を持ち、「I Will」の当事者意識で物事を進めよう

【現場主義】 問題解決のために、「現地現物」で事実をとらえ、本来こうあるべきという「原理原則」とのギャップを埋めることを常に意識しよう

② 『^{Appreciate}感謝』…みんなの幸せ

【お客様とチームメンバー】 お客様に選ばれ続ける仕事をして社会に貢献し、「チームメンバー」が共に汗をかいて働くことを幸せと思える会社になろう

③ 『^{Create}創造』…未来への飛躍

【よい品よい考】 常に先読みをしながら、知恵と好奇心を持って「よい品よい考」で創造力を最大にし、皆で力を合わせ新たな世界へ歩み出そう

3. 皆さんにお願いしたいこと

「Aichi Way」は、物事を考える時、行動する時の心の拠り所であり、中期経営計画を達成するにあたっての基軸となるものです。今一度、私たちが達成すべき目標と、物事を進めるうえでの①②③を共有し合い、夢の実現に向かって、愛知製鋼グループ全員で一丸となって突き進んでいきましょう！

以上